



青春のうごめき

大正・戦前
愛媛の
洋画家

2020
年度
自主企画展

〒791-1205
愛媛県上浮穴郡久万高原町菅生 2 番耕地 1442-7
電話：0892-21-2881 / FAX：0892-21-1954
<http://www.kumakogen.jp/site/muse/>

10 October 2020
3 - 12 December 2020
sat. sun.

大正期の芸術は短く、熱かった。
大正・昭和初期には情熱と反抗のエネルギーを内に秘め、足早に生きた洋画家も多い。
まさに、日本近代洋画史の青春期。
この時期、愛媛でもアカデミックな美術家と、
それに反抗する若手集団の対立が起きた。
塩月桃甫、藤谷庸夫を中心とする愛媛のアカデミックな美術集団。
それに対抗する若手集団、
三好計加らによる美術団体「青鳥社」や河本一男、洲之内徹らの「青年美術家集団」など、
反アカデミズムな集団の活動が活発化した。
それは、国家的権威を背景にした価値観に対して、
個人の芸術活動を重視する動き、
近代日本人が虚心に個人、自己と向かい合った「うごめき」でもあった。
また、大正・昭和初期は、多くの国民が東アジアに強い関心を向けた時代。
洋画家も、例外ではない。水木伸一、安藤義茂らが東アジアに旅した作品を残している。
画家が抱いた異国の文化への興味・関心がうかがえる。
「青春のうごめき 大正・戦前 愛媛の洋画家」では、
「アカデミズムと反抗」「アジアへの視線」という二つのテーマで、
愛媛ゆかりの作家たち、大正から昭和初期の美術界の動きを紹介する。
「行き詰まり感」のある現在、
旺盛なエネルギーに溢れたかつての時代思潮を見直すことに、意義があると考ええる。

10 October 3 - 12 December 6
sat. sun.

2020 | 会期 | 2020 年 令和 2 年 10 月 3 日 (土) ~ 2020 年 12 月 6 日 (日) | 開館時間 | 9:30 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで)

| 休館日 | 月曜日 (ただし 11 月 23 日は開館)、11 月 4 日 (水)、11 月 24 日 (火) | 観覧料 | 前売り 450 円 一般 800 (500) 円 高大生 500 (400) 円 小中生 400 (300) 円

※前売り券は 2020 年 9 月上旬より県内プレイガイド等で発売開始予定。※() 内は 20 名以上の団体、高齢者 (65 歳以上)、

障害者手帳 (身体障害者手帳・精神保健福祉手帳・療育手帳) 提示の際の割引料金。また障害者手帳提示の場合、付添い 1 名も () 内の額に割引。 | 駐車場 | 45 台 (無料)

◆関連事業

◎ **ギャラリートーク** 「戦前の愛媛の洋画家」その青春 定員 50 名 ※要予約・要観覧券

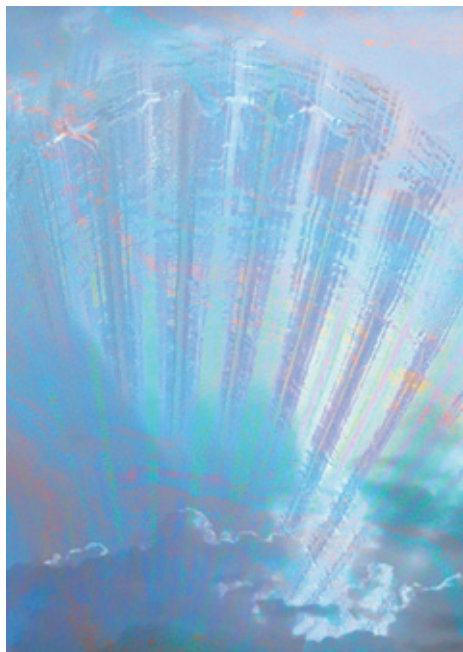
講師：増田和朗 (専門学校松山ビジネスカレッジクリエイティブ校教員)
日時：10 月 3 日 (土) 14:00 ~ 15:00 場所：町立久万美術館 ロビー

◎ **ワークショップ** 「ノスタルジックを閉じ込めよう」 定員 10 名 ※要予約

講師：武田哲也 (愛媛県立松山南高等学校校庭部分校デザイン科教員)
日時：10 月 17 日 (土) 14:00 ~ 16:00 場所：町立久万美術館 ロビー
参加費：800 円 (入館料込み)

◎学芸員解説 ※要観覧券

講師：当館学芸員 日時：10 月 24 日 (土)、31 日 (土)、11 月 7 日 (土)、14 日 (土)
各 14:00 ~ 場所：町立久万美術館 展示室



❖交通案内

<JRバス>

松山から 70 分

(ほぼ 2 時間毎、土・日曜・祝運休あり)

予讃線松山駅から久万高原行

「久万中学校前」下車徒歩約 10 分

<車>

松山市内から国道 33 号線で約 50 分、

高知市内から約 2 時間

松山自動車道 松山 IC から国道 33 号線を

高知方面へ約 30 分、

久万中学校前交差点を左折、

県道 12 号 (西条久万線) を 0.8km 東進、右側



町立 久万美術館

※ 朝鮮「満州」などは歴史的な呼称として用いています。

※ 新型コロナウイルスの影響により変更になる可能性があります。

※ 新型コロナウイルスの影響により変更になる可能性があります。

※ 新型コロナウイルスの影響により変更になる可能性があります。

※ 新型コロナウイルスの影響により変更になる可能性があります。

※ 新型コロナウイルスの影響により変更になる可能性があります。

※ 新型コロナウイルスの影響により変更になる可能性があります。

※ 新型コロナウイルスの影響により変更になる可能性があります。

※ 新型コロナウイルスの影響により変更になる可能性があります。

※ 新型コロナウイルスの影響により変更になる可能性があります。

※ 新型コロナウイルスの影響により変更になる可能性があります。

※ 新型コロナウイルスの影響により変更になる可能性があります。

※ 新型コロナウイルスの影響により変更になる可能性があります。

※ 新型コロナウイルスの影響により変更になる可能性があります。

※ 新型コロナウイルスの影響により変更になる可能性があります。

※ 新型コロナウイルスの影響により変更になる可能性があります。

※ 新型コロナウイルスの影響により変更になる可能性があります。



古茂田公雄《少女》1940 年、愛媛県美術館蔵

Kimio Komoda Girl



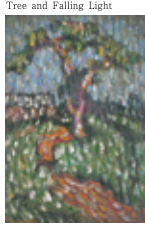
重松鶴之《時・薬瓶と茶碗》1923 年、町立久万美術館蔵

Tsurunosuke Shigematsu Medicine bottle and Teacup



高田修《母カツヨ像》1935 年頃、個人蔵

Osamu Takada Mather's Portrait Katsuyo



柳瀬正夢《木と降る光》1915 年、愛媛県美術館蔵

Masamu Yanase Tree and Falling Light



野間仁根《鷗》1931 年、愛媛県美術館蔵

Hitone Noma Seagull



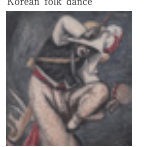
野間仁根《げ ゅうるむらん》1929 年、愛媛県美術館蔵

Hitone Noma The Full Moon

アジアへの視線

安藤義茂《朝鮮民謡》1948 年、北条よらさと館蔵

Yoshishige Ando Korean folk dance



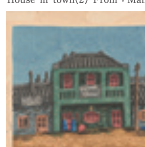
安藤義茂《乙女》1945 年、愛媛県美術館蔵

Yoshishige Ando Maiden



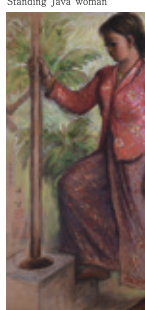
町田梅太郎《街の家(二)『満州』より》1944 年、愛媛県美術館蔵

Umetaro Azechi House in town(2) From 『Manchuria』



水木伸一《ジャワ女性立像》制作年不明、個人蔵

Shinichi Mizuki Standing Java woman



上岡美平《馬車》1937 年頃、五十崎順博物館蔵

Mihei Ueoka Cart



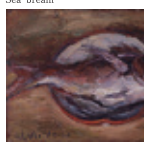
上岡美平《収穫》1937 年、五十崎順博物館蔵

Mihei Ueoka Harvest



森修《鯛》1931 年、愛媛県美術館蔵

Osamu Mori Sea bream



越智恒孝《テラスの朝》1930 年、愛媛県美術館蔵

Tsuneoka Ochi Terrace at morning

